

共通原則

建物を大切にし、大きさに頼らず、小さいものでも質の高いものとする。

- 看板は、文字や大きさや色でなく、デザインで人を惹きつけるよう工夫する。
- 建物のデザインを損なわない大きさの看板とする。
- 伝統的な和の寸法比率を積極的に活かす。

伝統を踏まえ、業種にふさわしいデザインとなるよう工夫し、各店の個性を看板に活かす。

- 形状やデザインで業種を発想できるものとする。
- 伝統を踏まえ、現代の川越に相応しいデザインを発想する。
- 看板の面に対して文字やロゴの表示面積が大き過ぎないようにバランスのとれた品の良い看板とする。

2階の軒より上には、看板をつけない。

- 歴史的な町並み景観を損なわないようにする。
- 建物と看板が調和し景観を形成するように心がける。

材料は原則として天然素材を用いる。

- 木材は、無垢材の使用が望ましい。
- 木材に限らず、ステンレスやアルミ等の鋼材でも良い。
- 銅板や漆喰などの伝統的な仕上素材は良い。

仕上は素材を生かす。

- 木材は、無垢材の素地を見せる。
- ステンレスやアルミ等の鋼材は、素地色を生かす。
- カットニングシート及びペンキ等の使用は避ける。
- 色彩は、町並みに調和する色とし、原色の白及び黒は使用しない。

デザインを限定することはないが、愛嬌と機知に富んだものとする。

- 洒落や通を表現する。
- アイデアにあふれた凝った庶民芸術としてのデザインとする。
- 日本文字の造形を活かす。

けばけばした電飾看板でなく、照明による演出を工夫する。

- 強い光の内照式看板は避ける。
- 照明を行う場合は、スポットライト等による演出とする。
- ネオン照明は行わない。

看板の数は、屋号看板及び商品看板とも、各店舗について各1個までとする。自立看板は、小さく周囲の景観に配慮して設置する。

- 複数の看板設置は、川越町並み委員会で協議する。
- 自立看板は景観を損なう場合があるのでなるべく避ける。
- 設置する場合は、周囲の景観に調和したものとする。
- 1棟の建物に複数の店舗がある場合は、看板の種類や大きさ、設置場所についてより慎重に協議する。

川越市川越伝統的建造物群保存地区



創作看板 Original Sign

川越市 都市景観課 令和3年3月

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

許可申請

計画の相談



市と事前協議



川越町並み委員会と事前協議



現状変更行為許可申請書の提出



現状変更行為許可通知書の交付



建築行為



現状変更行為完了届の提出

【注意事項】

看板、暖簾、塀、建築設備など町並みの景観に関わるものは、原則現状変更行為許可申請が必要です。

【助成について】

看板等を設置する際に、町並みに調和し、伝統を踏まえた、質の高い創作をしようとする場合、市から助成を受けることができます。

ただし、助成を受けるための協議期間が必要になります。また、年度内の予算にも限りがありますので、早めに都市景観課までご相談ください。

川越町並み委員会と協議

伝建地区内での建築行為には、市の許可手続きに先んじて、川越町並み委員会で町づくりに関するルールブックである「町づくり規範」に基づく協議が必要になります。川越町並み委員会は、概ね毎月の月末に開催されていますが、日程は不定期のため、計画の段階で事前に川越町並み委員会に連絡し、日程を確認してください。川越町並み委員会に出席される方は、計画・意匠を説明できる方であれば、施主及び事業関係者等は問いません。

なお、協議では町づくり規範と併せて昭和63年に地元の個店施設整備専門委員会が独自に定めた「看板に関する基準」が運用されています。

《川越町並み委員会への提出書類》

- 配置図
- 平面図（看板等を設置する位置）
- 立面図（各寸法、材質、仕上げ等）
- 断面図（各寸法、材質、仕上げ等）
- 色彩及び仕上げがわかる着色された図面及びイメージ図

川越市屋外広告物条例

伝建地区は、美しい町並み保存のため、条例で一般広告物の禁止地域に指定されています。自己の敷地内に掲出する、表札や店舗等の**自家用看板以外は掲出できません。**

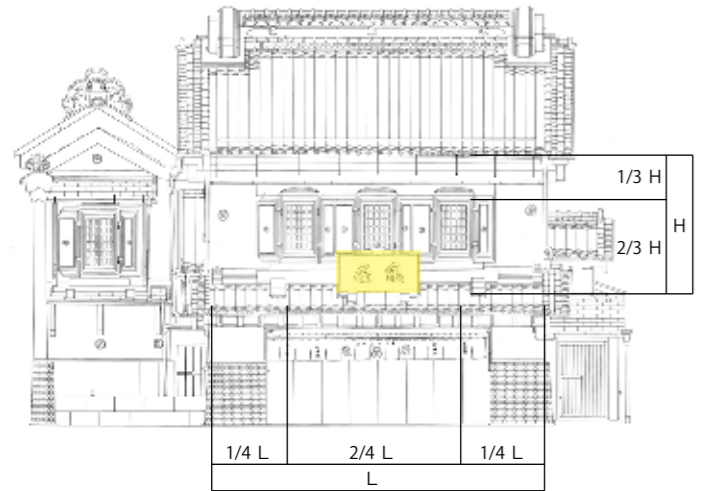
また、自己の敷地内であっても、大きさにより屋外広告物等の許可申請が必要な場合がありますので、事前に都市景観課までご相談ください。

看板の種類

屋根看板

主に歴史的な建物で用いる屋号を示す看板である。

- 看板は1階軒先より前に突き出さないようにします。
- 大きさは、間口の4分の2以内とし、屋根面より2階軒までの高さ3分の2以内にします。(図-1)
- 看板に枠を付けると、看板が引き立ちます。
- 屋号を示す文字は、箱文字や布袋彫り(かまぼこ彫り)で、盛り上がるような文字とし、凹凸感を表現しましょう。
- 看板の仕上げは、材質本来の素地を活かしましょう。
- 看板の設置角度は、少し起こした状態で、遠目からも見えるようにしましょう。
- 色彩にこだわりを持ち、原色の白及び黒は使用せず、町並みに調和する色を使いましょう。



(図-1) 屋根看板の大きさと位置

出典「看板に関する基準/個店施設整備専門委員会 (昭和63年8月23日)」

屋形(やかた)看板

独自の屋根型を有し、格式の高いものが多い。

- 看板は1階軒先より前に突き出さないようにします。
- 看板は2階軒先より上に超えないようにします。
- 強い光の内照式看板は避けましょう。
- 大きさは、看板だけが目立たないように心がけましょう。
- 単にプラスチック板による箱看板とせず、町並みに合うデザインにしましょう。
- 看板の仕上げは、白の乳白色ではなく、和紙調などを使用しましょう。
- 看板位置は、建物の両隅柱又は中心とし、通りに対して直角に立てましょう。



軒下・袖看板

主にその商店の商品イメージを表現する看板である。

- デザインは、愛嬌と機知に富んだ創作看板がふさわしい。
- 1階軒下の場合、軒下の連続性・開放性を損なわないように、大きさ、位置を配慮しましょう。
- 看板は、デザインでその業種や商品がわかるものを心がけましょう。
- 大きさは、軒下に納まるようにしましょう。



軒灯(けんとう)看板

主に屋号や商標を示す看板である。

- 伝統を重んじる老舗に多く、洋風照明を看板として取り入れた疑似洋風のデザインです。
- 銅板や鉄板で造り、1階底上部に取り付けます。
- 強い光による演出は避けましょう。



壁面看板

主に近代建築で屋根看板に代わって用いる看板である。

- 店舗正面とのバランスを考慮し、大き過ぎないようにします。
- 看板に枠を付けると、看板が引き立ちます。
- 文字のみの場合は、箱文字や、文字板を壁面から浮かすなど、凹凸感を活かしましょう。
- 看板の仕上げは、材質本来の素地を表現しましょう。
- 看板の大きさは、和の寸法比率が、町並みに調和します。



暖簾(のれん)

暖簾は、店舗の仕切り、営業の目安、あるいは、商店の信用や格式を表す伝統的なものである。

- のれんは、開口部の仕切りでもあり、一般的に人見梁の下に付けます。
- 軒から下げる場合は、軒先よりも開口部に近い位置につける方が納まります。
- 切り込みは、正方形かやや縦長の形状が一般的です。
- 文字や図を全体的に大きく表示するのではなく、小さくバランスのとれた品のあるものにしましょう。
- 布地の色は、伝統的な藍や江戸紫等の染めを基調とします。
- 袋縫い仕立てではなく、チチ仕立てとします。
- 両端のチチは2つずつ付けます。(補強にもなります。)



ショーウィンドー

座売り方式から洋風の陳列方式への販売方法の変化、店舗の近代化に対応するなかで、川越では、明治後期からお目見えした陳列窓である。

- 下屋の下であっても、本体とは一体化せず、独立した形態を取り、腰壁型の洋風ウィンドーとします。
- 腰壁の材料は、石・洗出し・タイル等が一般的です。
- 本来商品の陳列窓であるので、はめこるし型のウィンドーが一般的であり、引き戸タイプは望ましくありません。



店先の演出

川越では、町並み自体、建物自体の造形をシンボル、あるいはサインと認識できるように空間を演出します。一般的な商店建築のように大きな看板で目を引くことや、派手な色づかい、装飾で演出するのは逆効果です。しかし、江戸や明治の造作しか使えないと言うことはなく、現代の空間として魅力的な演出を考えるべきです。

火災予防のため、**のぼりの設置は行わない**ようにします。また、敷地内に置き看板を設置する場合には、質の高い意匠とし、営業時間外は、店内にしまします。

フロントまわりの建具は、木製建具が基本ですが、耐熱強化ガラスの使用や火の周り込みを防ぐ建具を考慮する必要があります。網入りガラスは、防火戸ではありますが、強化ガラスではありません。防犯上・見栄え、どちらにおいても相応しくありません。

鉄製(ステンレスを含む)のフレームは、蔵造りとの相性も良い建具ですが、無骨にならないよう洗練された形態を考えましょう。

アルミ製建具は、特に既製サッシの場合、壁の内側に納まるよう工夫する必要があります。

金属製建具の場合は、暗色着色が基本となります。(金属の地色の場合は、現地で周囲との検証をする必要があります。)

造作として、テント・オーニング・バナー等の洋風仕立てをする場合は、必ず町並みのなかで形状、材質、大きさ、色彩等の検証を行ない、慎重にデザインするものとします。

店舗の足元は、石・三和土(たたき)などが基本です。

